



# 財政状況をお知らせします 令和元年度の決算

令和元年度の市の決算をお知らせします。決算額は、歳入、歳出ともに前年度より増加しました。実質的な収支は黒字を確保し、財政指標もおおむね順調に推移するなど、本市の財政は引き続き健全性を維持しています。

問 財政課 ☎(632) 2064

## 一般会計

### Point 過去最大・2年連続の2,000億円台

歳入 (収入) **2,172** 億円 (前年度比78億円・3.7%増)  
 歳出 (支出) **2,133** 億円 (前年度比94億円・4.6%増)  
**= 39** 億円

#### 主な理由

- ▽ 国県支出金の増加
- ▽ 市債の増加
- ▽ 地方交付税の減少 など

#### 主な理由

- ▽ 普通建設事業費の増加
- ▽ 扶助費の増加
- ▽ 積立金の減少 など

#### 実質的な収支

**12** 億円の黒字

翌年度に繰越27億円 (令和2年度に引き続き実施する事業)

もっと詳しく!

## 歳入と歳出の内訳はどうなっているの? ( )内は前年度比

### 依存財源(※2) 42.8% 930億円

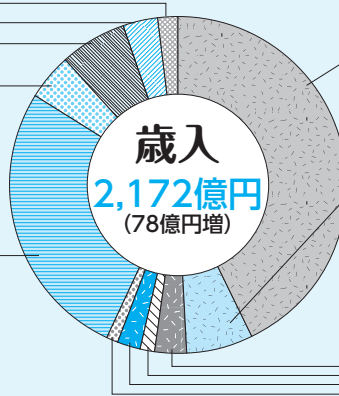
- その他の依存財源 37億円 (+5億円)
- 地方交付税 77億円 (△11億円)
- 市債 137億円 (+45億円)
- 地方消費税交付金 98億円 (△6億円)
- 国県支出金 582億円 (+70億円)  
特定の事業に対して国・県から交付されるお金。

### その他の経費 33.2% 708億円

- その他 16億円 (△79億円)  
積立金など。
- 維持補修費 22億円 (△2億円)
- 繰出金 152億円 (+16億円)
- 補助費等 141億円 (△1億円)
- 貸付金 123億円 (△0億円)
- 物件費 255億円 (+14億円)  
施設の光熱水費やごみ収集業務委託などのお金。

- その他 15億円 (+6億円)
- 農林水産業費 21億円 (+1億円)
- 消防費 56億円 (+3億円)
- 公債費 135億円 (+1億円)

- 衛生費 263億円 (+34億円)  
各種健診やごみ処理などのお金。
- 商工費 140億円 (△1億円)  
商工業の支援や観光イベントなどのお金。
- 教育費 192億円 (+9億円)  
小・中学校などの運営や社会教育などのお金。



### 自主財源(※1) 57.2% 1,242億円

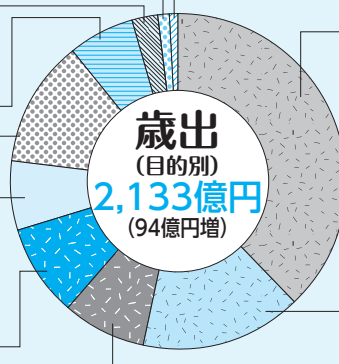
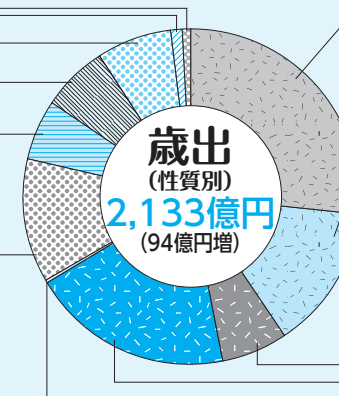
- 市税 931億円 (△0億円)  
市民税や固定資産税、軽自動車税など、皆さんが納めた税金。
- 諸収入 143億円 (△0億円)  
市の預金の利子や貸付金の元利収入など。
- 繰入金 64億円 (+27億円)
- 使用料・手数料 32億円 (△1億円)
- 繰越金 47億円 (+24億円)
- その他の自主財源 25億円 (△75億円)  
財産収入や寄付金など。

### 義務的経費(※3) 47.0% 1,003億円

- 扶助費 570億円 (+30億円)  
生活保護や保育などのお金。
- 人件費 299億円 (+4億円)  
議員や職員などにかかる議員報酬や給与、退職手当などのお金。
- 公債費 135億円 (+1億円)  
市が借り入れているお金を返済するためのお金。

### 投資的経費(※4) 19.8% 422億円

- 普通建設事業費 416億円 (+104億円)  
道路・公園・河川・建物などを整備するお金。
- 災害復旧事業費 6億円 (皆増)  
被災した施設を復旧するためのお金。



- 民生費 809億円 (+46億円)  
生活保護や高齢者、障がい者、児童などの福祉のためのお金。

- 土木費 332億円 (+9億円)  
道路・公園・河川などを整備するお金。

- 総務費 171億円 (△14億円)  
地域振興や市役所の全般的な事務などのお金。

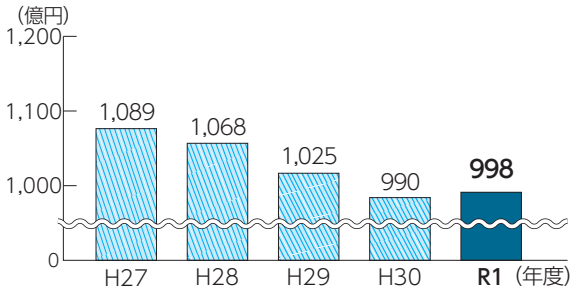
# 会計別

※資本的収支での不足額(△で表示)については、収益的収支での利益や積立金などで補いました。

会計名	歳入	歳出	差引額	会計名	歳入	歳出	差引額		
一般会計	2,172億2,390万円	2,133億3,267万円	38億 9,123万円	企業会計	水道事業	収益的収支	115億7,829万円	92億4,955万円	23億2,875万円
国民健康保険	501億5,860万円	501億 187万円	5,673万円			資本的収支	15億4,534万円	78億2,783万円	△62億8,249万円
介護保険	329億4,350万円	327億7,571万円	1億 6,779万円		下水道事業	収益的収支	130億5,733万円	125億8,581万円	4億7,152万円
母子父子寡婦福祉資金貸付事業	2億 459万円	1億6,472万円	3,986万円			資本的収支	34億4,263万円	87億6,677万円	△53億2,414万円
後期高齢者医療	56億5,427万円	56億3,513万円	1,914万円		中央卸売市場事業	収益的収支	6億 796万円	5億9,621万円	1,175万円
生活排水処理事業	16億5,185万円	16億5,154万円	32万円			資本的収支	4,859万円	1億8,042万円	△1億3,184万円
競輪	157億1,752万円	154億7,389万円	2億4,362万円		企業会計合計		302億8,015万円	392億 660万円	△89億2,645万円
駐車場	1億3,794万円	1億3,794万円	0万円						
都市開発資金事業	2億7,153万円	2億7,153万円	0万円						
土地区画整理事業(※5)	80億8,820万円	74億8,667万円	6億 152万円						
育英事業	2億6,514万円	2億 770万円	5,744万円						
特別会計合計	1,150億9,314万円	1,139億 671万円	11億8,643万円						

## 市債残高

### 市債残高の推移 (一般会計)



### Point!

市債残高は **998** 億円になりました  
(前年度比8億円増)  
家計でいうとローン

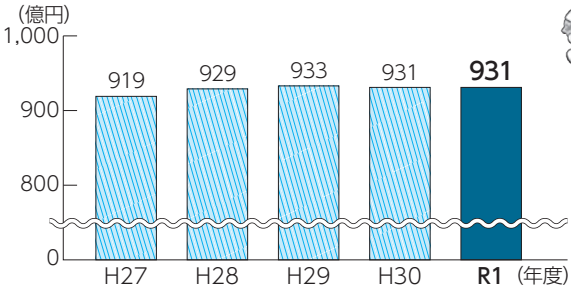


■市債とは 道路や学校などの施設整備を行うために資金を借り入れるものです。返済を長期間に分割して行うことで、世代間負担の公平性を確保しています。市債残高は、LRTの整備や「ゆいの杜小学校」の建設など、未来への投資を行ったため、増加しました。

市民1人当たり19万2,000円(前年度比2,000円増)だよ!

## 市税収入

### 市税収入の推移



### Point!

市税収入は **931** 億円になりました  
(前年度比0億円減)  
家計でいうと給料



企業収益の減少に伴い、法人市民税は減少したものの、市税収入全体としては、前年度と同規模になりました。

税・産業・雇用

## 今後も健全な財政運営に努めます

令和2年度以降においても、歳入の積極的な確保や歳出の抑制を図るとともに、これまで培ってきた財政力を生かし、施策・事業の着実な推進と将来世代の負担に配慮した財政運営に取り組んでいきます。

## 用語解説

用語	解説
自主財源(※1)	地方公共団体が自主的に収入できる市税、使用料・手数料、諸収入など
依存財源(※2)	地方公共団体が発行する市債や国・県により交付される国県支出金、地方譲与税など
義務的経費(※3)	生活保護など、支出が義務付けられ、任意に削減できない経費
投資的経費(※4)	道路建設など社会資本整備に要する経費(普通建設事業費、災害復旧事業費)

## 市の歳出額(性質別・目的別)を市民1人当たり換算した使い道(※6)

単位: 円

性質別 支出(歳出)			目的別 支出(歳出)		
項目	金額	前年度比	項目	金額	前年度比
人件費	57,431	+907	民生費	155,552	+8,931
扶助費	109,493	+5,878	土木費	63,857	+1,708
公債費	25,880	+209	総務費	32,789	△2,574
普通建設事業費	80,014	+20,153	公債費	25,880	+209
災害復旧事業費	1,149	+1,149	教育費	36,877	+1,741
物件費	48,908	+2,762	衛生費	50,520	+6,627
補助費等	27,115	△215	商工費	26,819	△138
貸付金	23,569	△31	消防費	10,728	+651
繰出金	29,240	+3,161	農林水産業費	3,943	+100
維持補修費	4,154	△342	その他	2,978	+1,168
その他	2,990	△15,208	—	—	—
合計	409,943	+18,423	合計	409,943	+18,423